

第12回 次期ごみ処理施設整備専門委員会 議事要旨

日時：令和7年5月24日（土）10:00～12:00

場所：泉南清掃事務組合

【出席者】

・委員 6名

委員長	吉田 登	国立大学法人 和歌山大学教授
職務代理人	下村 泰彦	公立大学法人大阪 大阪公立大学名誉教授
委員	竹中 規訓	公立大学法人大阪 大阪公立大学教授
委員	水谷 聡	公立大学法人大阪 大阪公立大学准教授
委員	蓑田 哲生	一般財団法人環境事業協会技術顧問
委員	松本 洋介	桜橋法律事務所所属弁護士

・事務局 6名 馬場事務局長 伊藤次長 栗阪課長 八塚課長代理 藤井係長 角谷

1 開会

2 議事

・前回委員会議事要旨の確認

【質疑等】

専門委員：各委員から意見があれば、事務局で対応するということをお願いしたい。

事務局：了解しました。

・提案書の事前審査結果について

事務局より、提案書の事前審査結果（落札者決定基準で規定する、提案書の内容が要求水準を満足しているか等の確認の結果）について説明

・次回委員会の進め方について

事務局より、次回委員会の進め方について説明

【質疑等】

専門委員：専門委員会とは、落札者を決定するのではなく、専門委員会では最優秀提案者の選定、答申を行い、落札者の決定は組合が行うという認識で合っているか。

事務局：専門委員会では最優秀提案者の選定、審査講評の作成までをお願いしたい。その後、組合で正・副管理者に報告をし、落札者を決定するという流れになります。

専門委員：組合規約では、開札時に構成団体の立合いは必要になっているか。

事務局：今の段階では立合いは考えていません。通常の入札案件でも他団体は入ってい

ません。

専 門 委 員：プレゼンテーション後の質疑応答についても、プレゼンテーションと同様に時間の延長は行わないのか。

事 務 局：現時点では時間の延長は考えていません。

専 門 委 員：当日のプレゼンテーションにおいて、提案書で示されていない追加提案がなされることはあるのか。

事 務 局：プレゼンテーションにおいては、新たな提案がなされることはありません。

専 門 委 員：落札者決定後に、組合と事業者で対話（設計協議）を行いながら事業を進めていくという認識で良いか。また、提案されたものがそのまま進むのか確認したい。

事 務 局：事業の進め方についてはご理解のとおりで、提案内容については、提案書がベースとなり、基本的に大きく変わることはありません。

専 門 委 員：提案書に書かれていることは、当然、実施されるものと考えてるが、要求水準書を満たしていることは前提として、内容が上回る事項について設計協議等を行いながら事業を進めていくということは事業者も認知しているのか。

事 務 局：認知しているものと認識しています。

・提案書について（提案書に対する意見交換、ヒアリング確認事項）

提案書に関する意見交換を行った。

【意見等】

専 門 委 員：ヒアリング確認事項の表現が各委員で異なっているため統一していただきたい。

・審査講評について

事務局より、審査講評について説明

【質疑等】

専 門 委 員：審査講評には、各委員個人の評価が記載されるのか。

事 務 局：各委員の点数は記載しません。委員会としての平均値を記載します。

専 門 委 員：審査講評では、入札価格の得点に加え、入札価格についても記載するのか。

事 務 局：入札価格についても記載します。

【意見等】

専 門 委 員：図表に「表 1」等の番号が記載されているところは、「以下のとおりである。」ではなく、「表 1 のとおりである。」という表現にした方が良い。

・その他

第 13 回専門委員会は、6 月 13 日（金）午後 1 時半から現地開催とする。

3 閉会

以上